

**野田市エンゼルプラン第４期計画（野田市子ども・子育て支援事業計画）
素案に対する意見募集の結果について**

パブリック・コメント手続によって寄せられた意見と市の考え方は、次のとおりです。

１ 政策等の題名

野田市エンゼルプラン第４期計画（野田市子ども・子育て支援事業計画）素案

２ 意見の募集期間

平成２６年１２月１５日（月）から平成２７年１月１３日（火）まで

３ 意見の募集結果

①提出者数・意見数		１６人	１６件
②提出方法	直接持参	１３人	１３件
	郵送	０人	０件
	F A X	１人	１件
	Eメール	２人	２件
③政策等に反映した意見			０件

４ 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
各論 p83 事業番号17 子育てサロン事業の充実			
1	虐待の状態になる前に手を差しのべるホームスタート事業の活動を市が支援することを計画に加えてほしい。	基本目標１（２）地域における子育て支援の充実に係る施策「子育てサロン事業の充実」の各論に、『今後の事業方針としてN P O法人の独自事業（ホームスタート事業）については、ニーズ調査において一定のニーズがあること、「届ける支援」という新しいタイプの事業であることから、新制度における拠点事業の財源を活用する中で、サロン事業の一部として取り込み、実施を支援していきます。』と記載し、プラン素案に位置付けています。	修正無し
2	ホームスタート事業の広報周知が確実に届くように野田市の事業としてほしい。	既に「野田市子育てガイドブック」及び野田市子育て支援総合コーディネート事業により運営す	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
		る「かるがもネット」の中にホームスタート事業を掲載しており、市窓口にもNPO作成のパンフレットを置くなど周知を図っています。今後も事業の周知に協力してまいります。市の事業化をとのご意見ですが、新制度における拠点事業の財源を活用する中で、サロン事業の一部として取り込み、実施を支援していくことを素案に位置付けております。	
3	ホームスタート事業について、各関係機関のネットワークを生かして子育て家庭への浸透をお願いしたい。	上記No.1のとおり「サロン事業の一部として取り込み、実施を支援していきます。」と素案に位置付けており、支援の一つとして、市民への周知とともに、子育てに係る各関係機関においてホームスタート事業が認識されるよう周知を図ってまいります。	修正無し
4	児童虐待防止のため、ホームスタート事業を野田市の事業としてほしい。	エンゼルプラン第4期計画素案では、児童虐待への対応を重点施策として、野田市児童虐待防止総合対策大綱を別立てして取り組むとしており、虐待の未然防止、早期発見・対応については、要保護児童対策地域協議会と子育て支援施策との二本柱により推進するとしています。 また、大綱に位置付ける施策である居宅養育支援事業（乳児家庭全戸訪問、訪問型一時保育、育児支援家庭訪問）や地域子育て拠点事業は、子ども・子育て支援新制度における地域子育て支援13事業としてもそれぞれ位置付けられていることから、ホームスタート事業を市の単独事業とするには、これらに置き換わる役割を	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
		持つ必要があると考えております。このようなことから、素案のとおり、ホームスタート事業を地域子育て拠点事業に取り込むことで虐待の未然防止にも寄与するものと考えております。	
5	外に出られない家庭を支援し虐待防止につなげるため、ホームスタート事業を野田市の事業としてほしい。	同上	修正無し
6	より多くの人が安心して利用し、野田市全体の見守り体制強化のため、ホームスタート事業を野田市の事業としてほしい。	同上	修正無し
7	地域の子育て支援を行う機関や見守る人とのつながりを充実させるため、ホームスタート事業を野田市の事業としてほしい。	同事業の趣旨を踏まえ、素案には、『今後の事業方針としてNPO法人の独自事業（ホームスタート事業）については、ニーズ調査において一定のニーズがあること、「届ける支援」という新しいタイプの事業であることから、新制度における拠点事業の財源を活用する中で、サロン事業の一部として取り込み、実施を支援していきます。』と位置付けており、地域子育て拠点における事業とすることで、ご意見にある「つながりの充実」につながるものと考えております。	修正無し
8	保護者の育児不安や育児ストレス解消のため、ホームスタート事業を野田市の事業としてほしい。	ホームスタート事業のように、子育てする家庭を直接訪問して育児を支援し、不安やストレスを解消する事業については、野田市は既に類似した事業（乳児家庭全戸訪問、訪問型一時保育、育児支援家庭訪問、母子家庭等日常生活支援）をそれぞれの目的に沿って実施していること、また、子ど	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
		も・子育て支援法に基づく新たな制度において「地域子育て拠点事業」が地域子育て支援13事業の一つとして位置付けられることから、ホームスタート事業をNPOが運営する子育てサロンの事業に取り込み、新制度の財源を活用する中で支援してまいります。	
9	保護者の孤立化を防ぐため、ホームスタート事業を野田市の事業としてほしい。	同上	修正無し
10	NPOが実施できなくなってもホームスタート事業が継続し発展するため、野田市の事業としてほしい。	野田市においては、乳児家庭全戸訪問、訪問型一時保育、育児支援家庭訪問、母子家庭等日常生活支援事業など、類似の事業をそれぞれの目的に沿って実施しており、ホームスタート事業については、地域子育て拠点事業に取り込む中でNPOの自主的な事業を支援してまいります。	修正無し
11	NPO活動には限界があるため、ホームスタート事業を野田市の事業としてほしい。	同上	修正無し
12	長く活動を続けるため、ホームスタート事業を野田市の事業としてほしい。	同上	修正無し
13	野田市の事業として、ホームスタート事業のビジター（ボランティア）の人員確保に寄与してほしい。	同上	修正無し
14	ホームスタート事業を野田市の事業とすることで訪問ボランティアのスキルアップ研修ができる。	同上	修正無し
各論 p139 事業番号 67 乳幼児健康診査の促進 p259 事業番号153 子ども支援室による支援の推進			
15	早い段階での相談や対話で問題を取り上げていくことが大切。	基本目標1（3）「母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
	1歳児・3歳児の健診など就学児健診の前に相談できる窓口があるとよい。保護者自身の問題なども取り上げ、気軽に相談できる場がほしい。	び増進」において、保健センターの事業である「乳幼児健康診査の促進」を位置付け、3カ月、1歳6か月、3歳、5歳の発達の時期に合わせた適切な相談指導などの支援を行います。 また、エンゼルプラン第4期計画の新たな施策として「妊娠・出産から育児まで一人ひとりの状況把握と切れ目ない支援」を新たな施策として位置付け、「子ども支援室」の設置により、母子保健、要保護児童対策などの分野との連携を含め、妊娠期から子どもに関するあらゆる相談に対応する事業を実施するとしていることから、ご意見にお応えできるものと考えています。	
16	子ども支援室を設置する案に賛同する。	エンゼルプラン第4期計画の新たな施策として位置付けた「子ども支援室」の平成27年10月開設に向け、着実に取り組んでまいります。	修正無し